



至誠

勝田第三中学校 学校だより 第3号
令和6年4月23日(火)発行
文責：校長 川上徹行



勝田三中HP

授業参観・PTA総会・懇談会、お世話になりました。

先日はご多用の中、多数の保護者の方々にご来校いただき、ありがとうございました。生徒たちに、充実した学校生活を提供するために重要な、PTAの様々な予算が承認され、実質的に令和6年度をスタートさせることができました。「至誠 勤勉 協和」の校訓のもと、更なる教育活動の充実を図ってまいります。保護者の皆様の後援を今後ともよろしくお願いいたします。(以下は私の総会で話した内容です。)



多くの保護者の皆様のご来校をいただき、大変うれしく、そしてありがたいと思っております。今年度も、休日開催の方が、来校しやすい、こうした対面での直接的なコミュニケーションの方が、よりよい関係性の構築ができると考え、開催させていただきました。昨日は前渡小、高野小、今日が三中の開催日となり、連続の方もいらっしゃると思います。ありがとうございます。昨年度から学校行事もPTA活動も、コロナ禍前とほぼ同様に開催できております。実際にその場において、見たり体験したりする活動は、生徒はもちろん、我々も大切ではないかと改めて感じております。

学校の様子ですが、1年生121名が入学し、全校生徒357名になりました。1・2・3年生とも4クラス、特別支援学級が4クラスです。市内中学校の中では1番生徒数の少ない中規模の中学校です。こうした強みをもとに、機動力を生かした教育活動をしたいと考えています。部活動に関しては、現在、国や県の意向により、地域移行が進められているところです。令和7年度末には、休日の部活動に学校の教員を従事させないという方針が掲げられています。市でも、この方針を受け、準備が進められており、今年度はバレーボール競技で実証事業を進めていく予定です。具体的な動きが出た時点で、その都度お知らせいたします。

学校の教育活動のキーワードは「**自律・尊重・創造**」です。現代社会は、生成AIに代表されるような「超スマート社会」になりつつあり、子供たちも、一人一台端末やクラウドをはじめとするICTを利活用して、学ぶ姿が当たり前となりました。しかし国際社会情勢の不安、環境変化や自然災害への不安、日本の世界GDP4位転落をはじめとする経済的な先行き不安など、社会や身の回りの諸問題に対して、解決策が見いだせない状況です。未来を生きる生徒たちには、こうした諸課題を解決し今後の豊かな生活を築いていく力が求められています。そのために、**正解のない問いに対しても、向かい続ける態度が重要です。考え、判断し、行動していく自律的な「学び」**のできる生徒を育ててまいります。そして中学時代は、思春期、成長の時期であり、悩む時期です。悩み考えることや様々なトラブルに向かい続けることは、子供たちを成長させます。子供たちの成長のために、保護者の皆様や地域の皆様、教職員の協力は不可欠です。教師は「**教育の専門家**」ですが、保護者の皆様は「**自分のお子様の専門家**」です。学校と保護者は生徒を真ん中にした「**援助チーム**」と考えております。今年度も保護者の皆様と連携して子供たちを大切に育てていきたいと思っております。楽しく温かく、居場所のある学校にまいります。今後ともご理解・ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

【授業中の生徒たちの活動の様子 4月21日(日)2校時】

